

平成27年度 ふれあいファミリアミーティング報告書（坂本区）

平成27年6月20日（土）19時00分～ ◆会場 坂本児童館 参加者◆28人（男19人・女9人）

行政区出席者◆大野区長、遠藤副区長、内野副区長ほか役員（自治会・婦人会・育成会・寿会）

町側出席者◆小野澤町長、吉川副町長、白井総務部長、平本民生部長、大成環境経済部長、橋本建設部長、佐藤教育次長、沼田消防長、行政推進課行政管理班職員、総務課広報広聴班職員

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
1	マイナンバーについて。通知カードに付いてくる個人カードの申請書を無くした場合の対応は？	はっきりとした国の対応が出ていませんが、通知カードがあれば申請できるという情報が入っています。	行政推進課	紛失の場合に備え、白紙の申請書を作成する方向で検討されているようです。なお個人番号カード交付の際には、通知カードの提出と顔写真つき身分証明書による本人確認が必要となります。
2	年金の情報漏えいがありました。町のセキュリティ対策や研修状況などを教えて欲しい。	町には情報担当の部署があり、職員の研修も重ねております。また、今回のような問題があったときには、再度徹底しております。	行政推進課	6月4日付けで職員全体へ注意喚起の通知を送付。今後、職員へのセキュリティ研修の中に、今回の事案対策を盛り込み実施予定です。
3	坂本から桜台五差路を通過して役場方面に向かう際に、赤信号にひっかかってしまい繋がりがスムーズではないので改善していただきたい。	信号機は警察で設置・管理をしています。厚木警察署へ確認します。	住民課	警察へ確認したところ、信号機を設置する際に交通量調査等を行い、信号の長さを設定しているとのことでした。
4	18歳から選挙で投票できるように決まりましたが、投票はいつからですか？ また、町として投票率を上げるための対策は？	18歳からの投票は、来年の夏の参議院選挙からになりますので、今年の秋の町議会選挙はできません。投票を促すために、高校では授業に組み込むことも考えているようです。町では明るい選挙推進委員会による啓発活動などにも力を入れ、若者の意識を高めたいと考えています。	選挙管理委員会事務局	同左 投票率の向上については、県立愛川高校との連携を図るとともに、未成年者に対する啓発ポスターの募集、選挙機材の貸し出しやバースデイカードの送付など、選挙が身近に感じられるよう啓発活動に努めます。
5	防犯灯のLED化はいつ頃ですか？	本年度の予算に計上してありまして、来年の2月頃に完了する予定です。	住民課	12月頃から既存の蛍光灯防犯灯を順次LED防犯灯へ交換し、2月末に完了予定です。
6	坂本児童館の建て替えを要望していますが、いつ頃になりますか？	本年度は、宮本児童館の設計をしていますので、坂本児童館については、区長さんと調整して順次やっていく予定です。	生涯学習課	平成28年度に宮本児童館の建設工事をする予定です。 坂本児童館の建て替えについては、今後、区と協議をさせていただきます。
7	田代運動公園のゲートボール場の観覧席の屋根に穴が空いているので、修繕してほしい。	状況を確認いたします。	スポーツ・文化振興課	現在、現場を確認し、修繕する方向で検討を進めています。

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
8	坂本青少年広場を、ゲートボールやターゲットバードゴルフ、ペタンクなどの団体が利用しています。大会の利用もあり、トイレが不足しています。トイレの増設をしてほしい。	状況は分かりました。研究いたします。	生涯学習課	大雨による増水などの際、工作物が流されることも危惧されるため、河川区域内には、なるべく工作物を設置しないよう河川管理者である厚木土木事務所から指導を受けています。既設の移動トイレも、大雨の際、直ちに流されない場所へ移動する体制が取れる最小限の数で許可されており、増設は困難です。こうしたことから、引き続き坂本プールのトイレの使用をお願いいたします。
9	坂本青少年広場の「桜の広場」をターゲットバードゴルフのグループが年間を通じて使用しています。町で使用許可を出しているようですが、桜の季節ぐらいは使用しないよう指導して欲しい。	詳細を調べて報告させていただきます。	生涯学習課	一つの団体の独占使用状態にならないように使用許可を改めます。桜の開花時期には、誰もが自由に立ち寄れる広場となるよういたします。
10	坂本青少年広場で夏になると外国籍の方の騒音が酷い。注意する看板などを作っていただきたい。	昨年、看板は設置済みです。さらに職員によるパトロールも行っていますが、ご迷惑が続くようでしたら連絡してください。	生涯学習課	同左
11	子供会が廃止になるなど、町の若者が流出しています。内陸工業団地も物流会社が増え、働く場所が減っていると思います。これからの状況に不安を感じますが、町としての対策は？	全国的に少子化、人口減少が進んでおり、これからの社会のあり方が変わってきています。工業団地内も圏央道の関係で物流業が増えていますが、ある程度、仕方の無いことだと考えています。町の人口ビジョンや、地方版の総合戦略に取り組み、いかに人口を維持していくか、さまざまな分野の方と意見交換をし、良い施策がないか取り組んでいるところです。	企画政策課	同左